

資料11 プレゼンテーション対象範囲

プレゼンテーション範囲		提案分類
プレゼンテーション項目	対象となる様式	
① 導入体制・導入実績 提案者は当院でのシステム構築の責務に適切に応えられるか。	・様式1.2 導入実績	○
	・様式1.3 稼働実績	
	・様式1.4 職務実績	
② システムの機能・利便性 今回提案するシステムが、当院にとってどのような効果が期待できるのか。	・様式4 提案システムの特徴	◎
	・様式6.1 システムの使いやすさ	
	・様式6.2 利用者の負担軽減 ・様式6.3 レスポンス	
③ 構築・運用のサポート システム構築を円滑かつ確実に実施するための具体的な提案内容について。	・様式7.1 構築スケジュールと役割分担の提案	◎
	・様式7.2 開発体制と担当者の実績	
	・様式8.1 WG構成と実施方法	
	・様式8.2 マスタ構築の方法	
	・様式8.3 データ移行と移行方法	
	・様式9 稼働準備に関する提案 ・様式10 システム切換えに関する提案	
④ 安定稼働に向けた対応 システムの安定稼働に向けた具体的な提案について	・様式11 安定稼働に対する提案	◎
	・様式12 セキュリティに対する提案	
⑤ コスト削減に向けた対応 システム構築、システム稼働後、次回更新にかかる費用の削減に向けた具体的な提案について。	・様式13 コストに対する提案	○
⑥ システムの利活用と将来性 提案システム稼働による利活用と、稼働後における医療改定対応、バージョンアップ、医療政策への対応等の具体的な提案について。	・様式14 情報システムの利活用に対する提案	○
	・様式15 情報システムの将来性に対する提案	

説明の順番は、プレゼンテーション項目の順（①～⑥）に行うこと。

◎：提案書の関連様式の内容に対する理解を深め、特徴を強調することを目的として重点的に実施する。

○：提案書の関連様式の内容について補足説明や強調したい内容があれば実施する。

原則として提出した様式をそのままスライドとして使用することとするが、時間内でより理解しやすいプレゼンテーションとするために、提案内容を変えることなく表現の集約化などは認める。

但し、提案書に記載のない事項のプレゼンテーションは認めない。